

交通安全協会だより（令和3年11月号）

～ 高齢運転者の交通事故防止 ～

高齢者の皆さんへ、年齢を重ねると個人差はありますが、身体機能は確実に低下しています。外出する時は、交通ルールを守り、体力や体調に応じた無理のない行動を心掛けて下さい。また、道路を歩く時や自転車に乗る時は、事故に遭わないよう交通安全に努めて下さい。

高齢者の方の交通死亡事件事例の特徴としては、

- 歩行中、自転車乗車中の場合、自宅付近（500メートル以内）で事故に遭う例が多い。
 - 買い物や散歩などで早朝や薄暮時間帯に事故に遭う事例が多い。
- といった傾向が見られています。

車を運転する時は

- 加齢による身体機能の低下があることの認識を持ちましょう！
 - ・動体視力、深視力などの視覚機能等【認知能力】
 - ・交通状況を瞬時に的確に判断する【判断能力】
 - ・必要な動作、操作を瞬時に選択、実行する【反応能力】などは、誰でも確実に低下していきます。
雨の日には運転をしない、運転は近所のスーパーや病院まで、といった安全行動をとることに努めて下さい。
- 高齢ドライバーの方は、交通安全講習会、運転適性検査等を積極的に活用し、機会があるたびに自分の身体能力をチェックし、運動能力等の低下があれば、それらをカバーできる行動を心掛けましょう。
- 衝突軽減ブレーキなどの先進安全技術を活用した一定の運転支援機能を備え付けた「安全運転サポート車」も検討しましょう。

道路を歩く時は

- 正しい場所（歩道・路側帯・道路の右側）を歩きましょう。
- 斜め横断はやめましょう。
- 通り慣れた道路でも油断せずに、外出したら車や自転車に注意しましょう。
- 道路を横断する時は、横断歩道の利用に努め、一旦止まって左右の安全確認をし、特に横断中の後半は左側からの車に気をつけましょう。
- 信号が変わりそうな時は、次の青信号まで1回待つゆとりを持ちましょう。
- 早朝、夕方、夜間の外出時は、明るい服装、反射材の有効活用を図りましょう。

車を運転するすべての方へ

- 道路を横断中に、交通事故に遭われる高齢者の方が増えています。高齢者の方は歩行の速度が遅くなり、走行してくる車両の速度や車両の距離感を誤って横断する傾向があります。
- 横断歩道がある場所はもちろんですが、信号機が赤色でも横断してくる高齢歩行者がいるかも知れないと警戒し減速するなど、高齢者の方の行動に対応できるような運転を心掛けて下さい。
- 特に、夜間はライトで十分に照らされていない道路右側（対向車線）にも注意を向け、横断者がいないか確認して走行して下さい。

～ 薄暮時間帯における早めのライト点灯とこまめな切り替え ～